

KUT

DIGITAL BATTLE MIXER WITH INNOFADER

取扱説明書



CE

注意！

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。

警告！

火災や感電を防ぐため、装置を水や液体にさらさないでください！
また、本体は分解しないでください！

www.reloop.com

Reloop Trademark
Global Distribution GmbH
Schuckertstr. 28
48153 Muenster / Germany
© 2017

dirigent.jp
株式会社銀座十字屋
ディリгент事業部

この度は「Reloop KUT」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。

本製品をご使用の前に、すべての項目をお読みいただき内容に従ってください。

また、最初に本製品を梱包から取り出した際に、破損や欠品がないことをご確認ください。もし、電源ケーブルや外装に損傷があった場合は、直ちに使用を中止し、お求めの販売店ご連絡ください。

安全にご使用いただくために	2	2.3	ゲイン	4	3.1	概要	5
規則に従った使用方法について	2	2.4	イコライザー	4	3.2	エフェクトの選択とルーティング	5
メンテナンス	2	2.5	ラインフェーダー	4	3.3	エフェクト	5
1. 概要	3	2.6	クロスフェーダー	4	4.	ドライバーのインストール	5
1.1 グラフィック	3	2.7	フェーダースタート	4	5.	技術仕様	6
1.2 名称	3	2.8	MIDI On/Off	4	5.1	USB ルーティング	6
1.3 KUT の接続	4	2.9	DJ MIC/AUX	5	5.2	一般仕様	6
2. 操作	4	2.10	モニタリング	5	6.	MIDI チャート	7
2.1 電源投入	4	2.11	マスター・セクション	5			
2.2 シグナル・インプット・セレクト	4	3.	エフェクト・ユニット	5			

安全にご使用いただくために

注意！電源ケーブルを取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につながる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損害の責任を負いません。

- 本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にするためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。
- 安全性と認可（CE）の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。
- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。
- ヒューズは、同じ定格のヒューズと交換しなければなりません。
- 本製品を完全にセットアップしたあとに、電源を供給するだけの状態であることを確認してください。常にメインプラグを最後に接続してください。製品に電源ケーブルを接続する際にメインスイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。
- 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。
- 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。
- ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。電源ケーブルを接続する際は十分にご注意ください。濡れた手でこれらのパーツに決して触れないでください。
- 安定した電源共有を得るには、電源ケーブルをコンセントに直接接続するか、電源ディストリビューターなどに接続してください。
- 使用しない場合、また掃除を行う前には本製品をコンセントから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。
- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。
- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。
- 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。
- 本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。
- 極端な高温（35°C 以上）、または極端な低温（5°C 以下）で本製品を使用しないでください。直射日光、ラジエーター、オープン（閉じられた車内も含みます）などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないようにしてください。常に十分な換気を確保してください。
- 本製品は、暖かい環境から冷たい環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。
- コントロールスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は濡った布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ベースの溶剤や、洗浄液を使用しないでください。
- 本製品の操作を開始するときに、アンプのフェーダーやボリュームコントロールが最小レベルになっていることを確認してください。パワード・スピーカーの電源スイッチは「オフ」であることを確認してください。一時的な影響で起こる場合のあるショットノイズよりスピーカー等の機器の破損を避けるために 8 ~ 10 秒間程度待ってからボリュームを上げてください。
- 本製品の操作を開始するときに、アンプのフェーダーやボリュームコントロールが最小レベルになっていることを確認してください。
- 電気が供給される本製品は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。また、お子様のいる環境下でのご使用には十分ご注意ください。
- 商業的な施設では、管理者や責任者によって定められた事故防止の規則を遵守しなければなりません。
- 学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任のもとで監視する必要があります。
- 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

規則に従った使用方法について

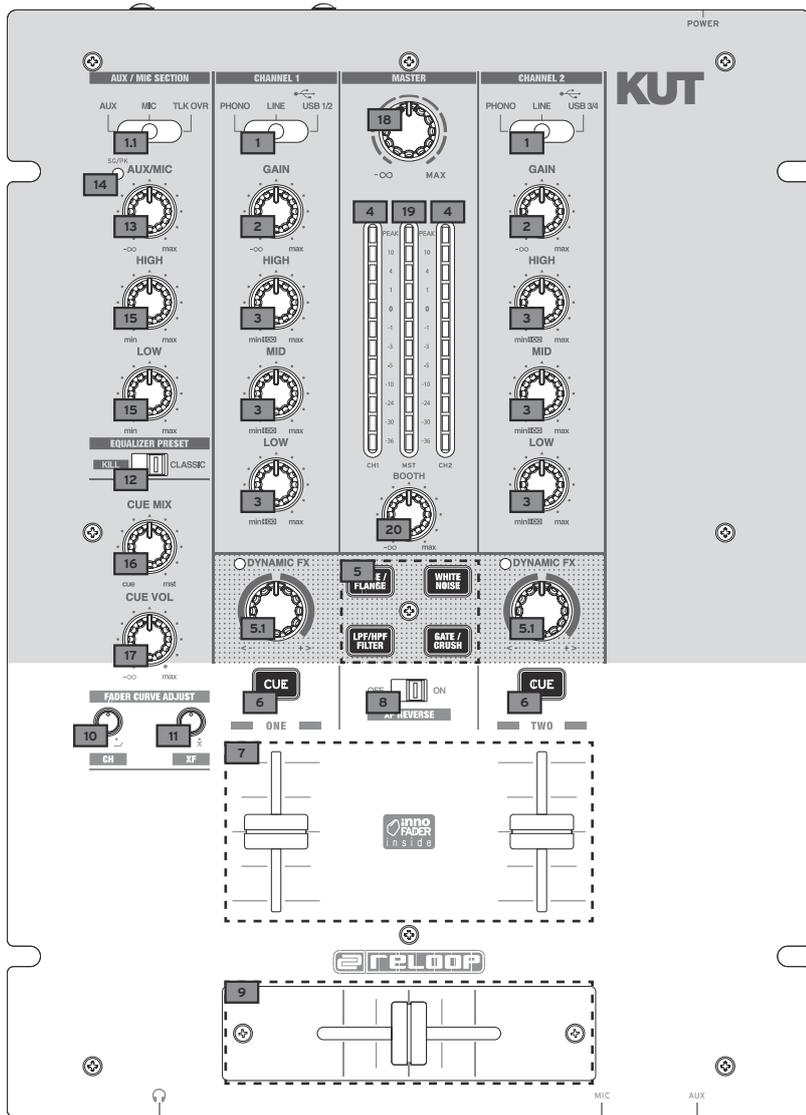
- 本製品は、オーディオ信号を入力、ミキシングするための DJ ミキサーです。本製品は、入力ソースとオーディオケーブルで接続されなければなりません。
- 本製品は、付属の電源アダプターを介して 100~240V、50/60Hz の AC 電源に接続するために認可されており、室内使用専用で設計されています。
- 取扱説明書に記載されている目的以外のために本製品を使用する際、製品に損害が起こる場合があり、その場合は保証の対象外となります。また指定した目的に準拠しない使用方法では、回路のショートや火災、感電などの危険を伴う場合があります。
- メーカーによって定められたシリアルナンバーは、保証の権利を証明するために大切に保管してください。

メンテナンス

- 定期的に、電源ケーブルまたはケースへの損害、ならびに本体のパーツ（ノブ、スライダーやフェーダー）、製品への取り付けに関する技術的な安全をチェックしてください。
- 安全な操作が可能でないと仮定される状況下では、直ちに本製品の使用を中止し、安全を確保してください。必ず電源プラグをアウトレットから外してください。
- 本製品が、好ましくない状況下、または輸送や長期間の保管により機能していない、または目に見える欠陥を負った場合は、安全な操作は不可能と仮定しなければなりません。

1. 概要

1.1 グラフィック



1.2 名称

1.2.1 シグナル・チャンネル

- 1シグナル・インプット・セレクト (PHONO/LINE/USB)
- 1.1シグナル・インプット・セレクト (MIC/AUX/Talk Over)
- 2ゲイン・ダイヤル
- 33 バンド・イコライザー (HIGH/MID/LOW)
- 4プリフェーダー LED メーター
- 5インスタント FX スイッチ
- 5.1インスタント FX ダイヤル
- 6キューボタン
- 7ラインフェーダー
- 8クロスフェーダー・アサイン・スイッチ
- 9クロスフェーダー
- 10ラインフェーダー・カーブ調整ダイヤル
- 11クロスフェーダー・カーブ調整ダイヤル
- 12イコライザー・カーブ切り替えスイッチ

1.2.2 マイク・チャンネル

- 13 MIC/AUX レベル
- 14 MIC/AUX レベル・コントロール LED
- 15 MIC 用 2 バンド・イコライザー (HIGH/LOW)

1.2.3 ヘッドホン・セクション

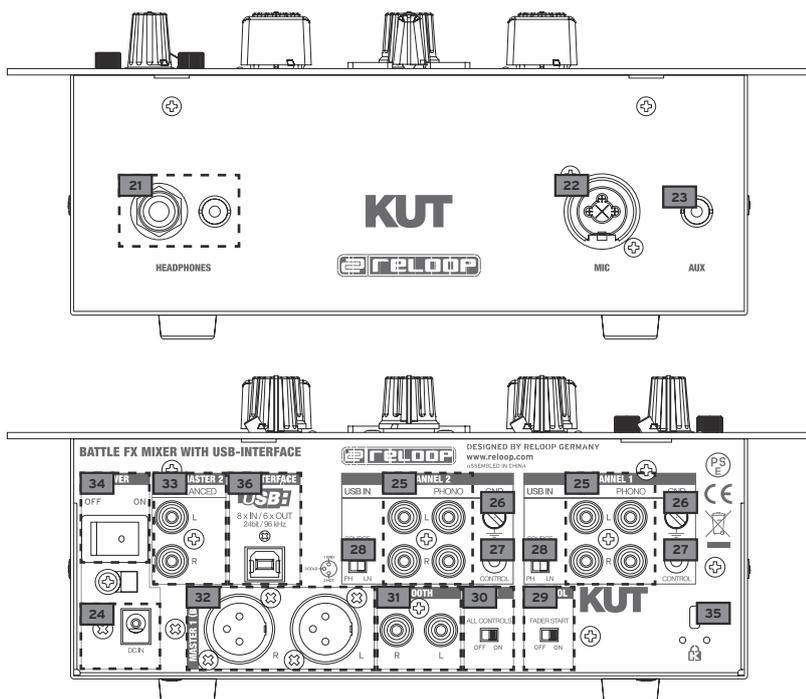
- 16 キューミックス (モニタリング / マスター音量バランス調整)
- 17 キューレベル (ヘッドホン出力音量調整)

1.2.4 マスター・セクション

- 18 マスター・ボリューム (マスター音量調整)
- 19 マスター LED メーター
- 20 ブース・ボリューム

1.2.5 FX セクション

- 21 ヘッドホン出力端子 1&2
- 22 マイク入力端子
- 23 AUX (外部入力) 端子
- 24 電源アダプター端子
- 25 チャンネル入力端子
- 26 GND (グラウンド) 端子
- 27 フェーダースタート端子
- 28 USB ソース切り替えスイッチ
- 29 フェーダースタート On/Off スイッチ
- 30 MIDI On/Off スイッチ
- 31 ブース出力端子
- 32 マスター出力端子 (バランス XLR)
- 33 マスター出力端子 (RCA)
- 34 電源 On/Off スイッチ
- 35 ケンジントンロック・スロット
- 36 USB 端子



1.3 KUTの接続

1.3.1 LINE (ライン) 音声

CD プレーヤーや DJ コントローラーなどの LINE 音声のソースを、LINE チャンネル入力端子 1/2 (図中 25) に接続します。

1.3.2 PHONO (フォノ) 音声

ターンテーブルなどの PHONO 音声のソースを、PHONO チャンネル入力端子 1/2 (図中 25) に接続します。また、ターンテーブルのアース線は、GND (グラウンド) 端子 (図中 26) につなぎます。

1.3.3 マイク音声

マイクをマイク入力端子 (図中 22) に接続します。

1.3.4 ヘッドホン

ヘッドホンをヘッドホン出力端子 (図中 21) に接続します。

1.3.5 フェーダースタート

CD プレーヤーのフェーダースタート・ケーブルを、フェーダースタート端子 (図中 27) に接続します。

1.3.6 マスター出力

お手持ちのサウンドシステムに、マスター出力端子 (RCA・図中 33) またはマスター出力端子 (バランス XLR・図中 32) を接続します。

1.3.7 モニター出力

お手持ちのモニターシステムに、ブース出力端子 (図中 31) を接続します。

1.3.8 電源供給

電源アダプターを電源アダプター端子 (図中 24) に接続します。その後、AC コンセントに電源アダプターをつなぎます。

1.3.9 USB 端子

KUT は、USB インターフェイスを搭載しており、USB 経由で音声の再生・録音が可能です。USB ケーブルを使用して、コンピューターと KUT の USB 端子 (図中 36) を接続します。Windows をお使いの場合は、ASIO ドライバーをインストールする必要があります。ドライバのインストールについては、後述のチャプター 4 をご参照ください。

2. 操作

2.1 電源投入

すべての接続が完了したら、電源 On/Off スイッチ (図中 34) で KUT の電源を入れます。

2.2 シグナル・インプット・セレクト

シグナル・インプット・セレクト・スイッチ (図中 1) を使用して、USB、LINE または PHONO のいずれかの音声ソースを選択できます。また、シグナル・インプット・セレクト・スイッチ (図中 1.1) を使用して、マイク /AUX チャンネルのソースとして、マイク、AUX (外部入力)、マイク・トークオーバーのいずれかを選択できます。

2.2.2 USB ソースセレクト

USB ソース切り替えスイッチ (図中 28) を使用して、USB チャンネルに送る音声ソースとして、チャンネル入力端子 (図中 25) の LINE 音声か PHONO 音声のいずれかを選択することができます。

2.3 ゲイン

ゲイン・ダイヤル (図中 2) を使用して、チャンネル 1 と 2 の入力音量を、音声のピークがプリフェーダー LED メーター (図中 4) の黄色い範囲に収まるように調整します。また、MIC/AUX レベル (図中 13) を使用して、MIC/AUX/Talk Over チャンネルの音量を、MIC/AUX レベル・コントロール LED (ピーク LED・図中 14) が、ピーク時のときだけ点灯するように調整します。

2.4 イコライザー

3 バンド・イコライザー (図中 3) を使用して、チャンネル 1 と 2 の高・中・低音域の周波数帯の音量を調整します。また、MIC 用 2 バンド・イコライザー (図中 15) では、MIC/AUX/Talk Over チャンネルの高・低音域の周波数帯の音量を調整します。

2.5 ラインフェーダー

ラインフェーダー (図中 7) は、チャンネル 1 と 2 の出力音量を調整するのに使用します。ラインフェーダーのカーブ調整は、ラインフェーダー・カーブ調整ダイヤル (図中 10) で行います。時計の針 12 時の方向で、カーブはリニアとなり、時計回りへ回すことでカーブの立ち上がりが遅く、反時計回りへ回すことで立ち上がりが早くなります。

2.6 クロスフェーダー

クロスフェーダー (図中 9) は、チャンネル 1 と 2 の音声のバランスを調整するのに使用します。クロスフェーダーのカーブ調整は、クロスフェーダー・カーブ調整ダイヤル (図中 11) で行います。反時計回りに回すことで、クロスフェーダーは「シャープ」になり、スクラッチプレイに適するようになります。時計回りへ回すことで、クロスフェーダーは「スムーズ」になり、ロングミックスに適した状態になります。また、クロスフェーダー・アサイン・スイッチ (図中 8) を使って、クロスフェーダーの左右の割り当てがチャンネル 1 と 2 で逆になります。

2.7 フェーダースタート

対応する CD プレーヤーをお持ちの場合、専用のケーブルをフェーダースタート端子 (図中 27) に接続し、フェーダースタート On/Off スイッチ (図中 29) をオンにすることで、フェーダースタート機能が有効になります。

フェーダースタート：

ラインフェーダーを下げると、接続されている CD プレーヤーは前回保存したキューポイントに戻るか、または一時停止します。ラインフェーダーを上げると、CD プレーヤーは再生されます。

注意：お使いの CD プレーヤーによって、フェーダースタート機能の実際の動作は様々ですので、詳しくはそれぞれのマニュアルをご確認ください。

2.8 MIDI On/Off

KUT は、MIDI 信号の送出が可能です。対応している MIDI コマンドは、後述の MIDI チャートで確認できます。この機能は、MIDI On/Off スイッチ (図中 30) でオン・オフを切り替えられます。

2.9 DJ MIC/AUX

シグナル・インプット・セレクト (MIC/AUX/Talk Over) スイッチ (図中 1.1) で、MIC を選択すると、KUT に接続したマイクが有効になります。MIC/AUX レベル (図中 13) で音量を調整します。スイッチを AUX に切り替えると、AUX (外部入力) 端子 (図中 23) に接続した外部入力ソースが有効になります。また、スイッチを TLK OVR (Talk Over) に切り替えると、マイクチャンネル以外のすべてのチャンネルの音量が下がります。

2.10 モニタリング

キューボタン (図中 6) を使用して、ヘッドホンでモニターしたいインプット・チャンネルを選択することができます。キューミックス (キュー / マスター音量バランス調整・図中 16) で、マスター出力とキューボタンで選択したチャンネルの音量バランスを調整します。CUE 側に振り切った場合は、キューボタンで選択したチャンネルの音声のみを、MASTER 側に振り切った場合は、マスター出力の音声のみをモニタリングできます。CUE と MASTER のバランスは無段階に調整でき、ヘッドホンを聴きながらミックスをシミュレートすることができます。キューレベル (ヘッドホン出力音量調整・図中 17) を使用して、ヘッドホンの音量を調整します。

2.11 マスター・セクション

マスター・ボリューム (マスター音量調整・図中 18) を使用して、マスター出力の音量が、マスター LED メーター (図中 19) の黄色い範囲に収まるように調整します。また、ブース・ボリューム (図中 20) を使って、ブース出力の音量を調整します。

3. エフェクト・ユニット

3.1 概要

KUT には、以下の高品位スタジオクオリティの DSP エフェクトが搭載されています。

White Noise (ホワイトノイズ)、フィルター (HP・ハイパス / LP・ローパス)、Bit Crush (ビット・クラッシュ) / Gate (ゲート)、Phaser (フェイザー) / Flanger (フランジャー)

3.2 エフェクトの選択とルーティング

インスタント FX スイッチ (図中 5) を押して、目的のエフェクトを選択します。選択されたエフェクトのスイッチが点灯します。一度に使用できるエフェクトはひとつで、チャンネル 1 と 2 に同時に適用されます。

インスタント FX ダイアル (図中 5.1) を回して、現在有効のエフェクトにオリジナルの音声を加えることができます。インスタント FX ダイアル (図中 5.1) が 12 時方向にある場合は、エフェクトは無効状態で、ダイアルを左右に回すことでエフェクトが有効になります。エフェクトが有効になっている場合に、ダイアルの上にある緑色の LED が点灯します。

各エフェクトの詳細は下記の通りです。

3.3 エフェクト

3.3.1 Flanger (フランジャー)

フランジャーは、クラシックな DJ エフェクトの一種です。ひとつの音声をふたつの経路に分割し、片方をわずかに遅延させ干渉させることで音色に変化を加えます。

3.3.2 Phaser (フェイザー)

フェイザーは、ひとつの音声をふたつの経路に分割し、片方の位相を変化させ干渉させることで音色に変化を加えるエフェクトです。

3.3.3 Filter (フィルター)

フィルターは、特定の周波数帯域より上 (または下) の帯域をフェードアウトさせるエフェクトです。インスタント FX ダイアル (図中 5.1) を右に回すと低い周波数帯がフェードアウトされ (ハイパスフィルター)、左に回すと高い周波数帯がフェードアウト (ローパスフィルター) されます。

3.3.4 White Noise (ホワイトノイズ)

ホワイトノイズを加えることは、トラック内の特定のメッセージを強調する一般的なエフェクトです。KUT のノイズは、リズムカルなエフェクトを作成するために LFO で調整することができます。

3.3.5 Bit Crusher (ビット・クラッシャー)

ビット・クラッシャーは、オリジナルの音質を破壊し、意図的に劣化したチープなサウンドに変化させるエフェクトです。

3.3.6 Gate (ゲート)

ゲートは、特定のレベルを上回る信号のみを出力し、ぶつ切りのような効果を及ぼすエフェクトです。

4. ドライバーのインストール

KUT は、Mac OS X で使用する際には、特別なドライバーをインストールする必要はありません。Windows でご使用になる際には、弊社のウェブサイトから専用のドライバーをダウンロードしてください。

<https://dirigent.jp/product/reloop/kut/>

ダウンロードした「.exe」ファイルをダブルクリックでインストールを開始し、画面の指示に従ってインストールを完了してください。インストール後は、ミキサーを再接続してください。

5. 技術仕様

5.1 USBルーティング

コンピューターから KUT へ出力する場合：

コンピューター上で見える USB ポート	KUT への入力
1+2	チャンネル 1 の USB ソース
3+4	チャンネル 2 の USB ソース
5+6	マスター入力
7+8	-

KUT からコンピューターへ出力する場合：

コンピューター上で見える USB ポート	KUT からの出力
1+2	チャンネル 1 のコントロール信号 ※1 チャンネル 1 のフェーダー後の信号 ※2
3+4	チャンネル 2 のコントロール信号 ※1 チャンネル 2 のフェーダー後の信号 ※2
5+6	MIC/AUX 出力
7+8	REC 出力 (マスター出力と同等)

※1：シグナル・インプット・セレクト (図中 1) を USB にセットした場合。また、PHONO か LINE は、USB ソース切り替えスイッチ (図中 28) の設定によります。

※2：シグナル・インプット・セレクト (図中 1) を PHONO または LINE にセットした場合。

5.2 一般仕様

電源：..... DC5V、3A、15W
サイズ：..... 254 x 355 x 104mm (W x D x H)
重量：..... 3.25kg

入力：

CD：..... 47K Ω / 0 dBV (1V)
PHONO：..... 47K Ω /-36 dBV (15.85 mV)
AUX：..... 47K Ω /-3 dBV (1V)
MIC：..... 12K Ω /-36 dBV (15.85 mV) (Unbalance)

出力：

MASTER：..... 1K Ω /-2.2 dBV (776 mV) \pm 1 dB
BALANCED：..... 600 Ω /-2.2 dBV (776 mV) \pm 1 dB
BOOTH：..... 600 Ω /-2.2 dBV (776 mV) \pm 1 dB
PHONES：..... 33 Ω /-13.3 dBV (216 mV) \pm 1 dB

周波数特性：

CD：..... 20 ~ 20K Hz +1/-1.5 dB
AUX：..... 20 ~ 20K Hz +1/-1.5 dB
PHONO：..... 20 ~ 20K Hz +1/-2 dB
MIC：..... 20 ~ 20K Hz +1/-2 dB
CUE：..... 20 ~ 20K Hz +1/-2 dB

S/N 比：

CD：..... 83 dB
PHONO：..... 83 dB
AUX：..... 83 dB
MIC：..... 83 dB

6. MIDIチャート

Section	Item	Type	MIDI (hex)		MIDI 2 (dec)
CH1	GAIN	VR	Bn	01	0-127
	HIGH	VR	Bn	02	0-127
	MID	VR	Bn	03	0-127
	LOW	VR	Bn	04	0-127
	CUE	BTN	9n	01	OFF = 0, ON = 127
	Channel Fader	VR	Bn	05	0-127
	Dynamic FX	VR	Bn	06	0-127
	INPUT	SW	9n	02	PH = 0, CD = 64, USB = 127
CH2	GAIN	VR	Bn	07	0-127
	HIGH	VR	Bn	08	0-127
	MID	VR	Bn	09	0-127
	LOW	VR	Bn	0A	0-127
	CUE	BTN	9n	03	OFF = 0, ON = 127
	Channel Fader	VR	Bn	0B	0-127
	Dynamic FX	VR	Bn	0C	0-127
	INPUT	SW	9n	04	PH = 0, CD = 64, USB = 127
Crossfader	CROSSFADER	VR	Bn	0D	0-127
	CF REVERSE	SW	9n	11	OFF = 0, ON = 127
Fader Curve	CH FADER	VR	Bn	0E	0-127
	X FADER	VR	Bn	0F	0-127
Master	MASTER VOL	VR	Bn	10	0-127
	BOOTH	VR	Bn	11	0-127
	EQ CURVE	SW	9n	05	KILL = 0, CLASSIC = 127
Headphone	LEVEL	VR	Bn	12	0-127
	MIX	VR	Bn	13	0-127
Mic	LEVEL	VR	Bn	14	0-127
	HIGH	VR	Bn	15	0-127
	LOW	VR	Bn	16	0-127
	INPUT	SW	9n	06	AUX = 0, MIC = 64, TLK OVR = 127
Fader Start	Fader Start CH1	BTN	9n	07	FADER DOWN = 0, FADER UP = 127
	Fader Start CH2	BTN	9n	08	FADER DOWN = 0, FADER UP = 127
Dynamic FX	PHASE/FLANGER	BTN	9n	09	OFF = 0, ON = 127
	WHITE NOISE	BTN	9n	0A	OFF = 0, ON = 127
	FILTER	BTN	9n	0B	OFF = 0, ON = 127
	GATE/CRUSH	BTN	9n	0C	OFF = 0, ON = 127
Rear	MIDI	SW	9n	0F	OFF = 0, ON = 127
	FADER START	SW	9n	10	OFF = 0, ON = 127
SysEx	Pick up request	F0 02 06 0A 0D 08 0E 09 01 00 01 F7			

7. 製品サポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ Dirigent へのご登録方法：

Dirigent サポートページにアクセスし、Reloop オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■ Dirigent カスタマーサポート：

電話でのお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

電話番号：03-6264-7818（受付時間：平日 10:30～17:00）

休業日：土日祝日および弊社特別休業日

Dirigent サポートサイト：<https://dirigent.jp/supports/>



Reloop Distribution
Global Distribution GmbH
Schuckertstr. 28
48153 Münster / Germany

Fax ++49/251/6099368

Technische Änderungen vorbehalten.
Alle Abbildungen ähnlich.
Keine Haftung für Druckfehler.

Subject to alterations.
Illustrations similar to original product.
Misprints excepted.

Reservado el derecho para realizar modificaciones técnicas.
Todas las imágenes son similares.
No se asumirá la responsabilidad por errores de impresión.

Sous réserve de modifications techniques.
Toutes les illustrations sont similaires.
Aucune responsabilité pour les erreurs d'impression.

Copyright 2017

Dirigent

dirigent.jp

株式会社銀座十字屋ディリгент事業部
カスタマーサポート

TEL : 03-6264-7818 (平日 10:30~17:00)